

発表論文集原稿作成における個人情報の保護についてのお願い

日本犯罪心理学会編集委員会

日本犯罪心理学会大会において研究発表を行う場合は、口頭又はポスターによることになっています。提出された発表論文集原稿は、写真製版により、「犯罪心理学研究 特別号」として、会員や関係機関等に広く頒布されています。

研究発表に際しては、個人情報の保護に細心の留意を払われていることと思いますが、発表論文集原稿作成においても、会誌というものの特質にかんがみ、さらに入念な注意を払い、個人情報の保護に万全を期していただくようお願いいたします。特に、面接・心理検査等の生データの掲載や生活史・処遇経過等の記載は、たとえ匿名にしてあっても、対象者や関係者（機関）としては、個人情報を公表されたこととなります。事前に対象者や関係者の承諾を得た上で、その旨を原稿に明記するようお願いいたします。

また、「事例発表」の分科会は、個人情報の保護に配慮して参加者を正会員のみに制限しておりますので、学会員以外でも購読や閲覧が可能な会誌に事例に関する詳細な情報を掲載することは、こうした大会運営と齟齬を来たすおそれがあり、特に慎重にしなければならないと考えております。

編集委員会においては、会誌における個人情報の保護に万全を期するために、提出された発表論文集原稿に個人情報の扱いその他の点で不適切と思われる内容や表現が記載されている場合には、著者あて照会又は修正を依頼することになりますので、御了承ください。また、統計的処理を用いた研究であっても、データの収集について、関係者の承諾を得ていることが原稿中明らかでない場合は、著者宛照会することになりますので、御了承ください。

なお、公務員等守秘義務のある方については、外部から守秘義務への抵触等を疑われることのないよう御留意願います。